



特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会 2020年度 活動団体応援プログラム 活動報告書 〔まなびデザイン〕（北海道札幌市）

【団体紹介 HP】 <https://bouken-asobiba.org/play/asobiba-306.html>

1年間の活動の概要

通常の遊び場活動が難しくなったため、試行錯誤した1年でした。3月と8月にラジオ体操と遊び場を組み合わせた「ちょこっと運動プロジェクト」の支援のほか、まち全体を遊び場に見立ててウォークラリーをした「桑園おさんぽ日和」、地域の子どものために何かアクションを起こす「桑園子どもDAY」の実施をしました。大学でのゲスト講師は、昨年度に引き続き行うことが出来ました。また、ロンドンスタディツアーの報告会でのゲストや札幌市のリスクマネジメント講座でのパネリストとしての登壇や新聞記事の執筆活動など、遊び場の意義を伝える活動も増えてきました。

次の1年間でチャレンジしたいこと！

遊び場に限定されずに幅広い分野で活動すること。それによって、遊び場づくりという手法が活用できるどんなニーズがあるかを把握していく。そして、団体の法人化を目指します。



▲ラジオ体操×あそびば（2020年8月12日開催）

【運営メンバーから一言！】

今まで通りのことが出来ないなら、出来ることを考えてやってみよう！というプレーパークの原点にもどったかのような1年でした。そのせいか、新しい発想に至ることも多く、視野を広げることが出来ました。依頼なども少しずついただき、ありがたいことです。2021年度は、いろんな業種、いろんな手法を組み合わせながら、団体が自主独立をしていける段取りを組む1年にしたいと思います。

（代表 寺坂崇）

【協会から応援メッセージ！】

以前は遥々北海道から千葉にも視察いただきました。千葉県冒険遊び場ネットワークの研修にも参加していただくなど、これからも繋がって遊び場を広げて行きましょう！

千葉からも応援しています！

（地域運営委員（千葉） 古川美之）



▲桑園おさんぽ日和（2020年10月3日開催）

活動団体応援プログラムは、各地の冒険遊び場づくりを全国の仲間たち（協会）が応援するプログラムです。参加をご希望の方は、日本冒険遊び場づくり協会までお問い合わせ下さい。【協会 HP】 <https://bouken-asobiba.org>